

9 爽やかな「都」をつくる

【基本的方向】

奈良が持つ行政資源を総動員し、効率的・効果的な行財政マネジメントを行い、行き届いた行政サービスを届ける。

【数値目標】

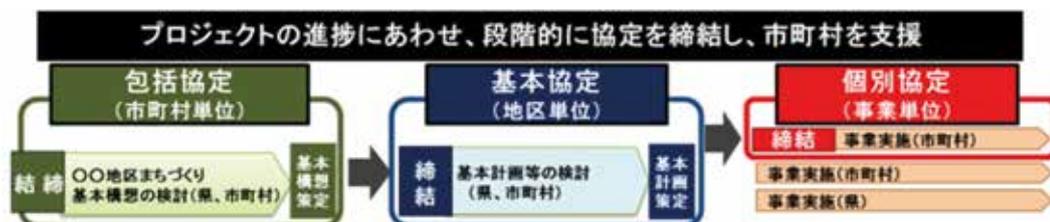
- (1) 自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっていること（県民アンケート調査満足度(5段階評価) 2.72ポイント（令和元年度）→3.00ポイント（令和9年度）
- (2) 県域水道一体化による上水道統合 0団体（令和元年度）→29団体（令和8年度）

【具体的施策】

(26) 奈良モデルの実行

①市町村と連携したまちづくりの推進

本県では、市町村との連携したまちづくりを進めています。県は引き続き市町村事業への技術支援・財政支援を行いつつ、各市町村とのまちづくり連携協定に基づき、地域資源を活用した魅力あるまちづくりを進めます。



三輪山線整備イメージ
(桜井市大神神社参道周辺地区)



平成 30 年度社会実験（グリーンスローモビリティ運行）実施
(桜井市長谷寺門前町周辺地区)



<KPI>

指標名	現状値	目標値
まちづくり基本計画策定地区数 (累計) (地区)	8 地区 (平成 30 年度)	20 地区 (令和 6 年度)

<具体的な取組>

- まちづくり連携協定に基づき市町村と協働でまちづくりを推進
- JR 新駅周辺のまちづくり
最先端の情報技術を活用した高度な都市サービスの提供を促進
新駅周辺の面的整備を促進
- 近鉄郡山駅周辺のまちづくり
駅周辺に人が集まる空間の整備を推進
地区内へ流入する自動車交通の抑制及び地区内道路の歩行者優先化を推進
- 県立医科大学周辺のまちづくり
県立医科大学の教育研究部門の移転にあわせた大学・附属病院の基盤整備の推進
「医大隣接の利点を活かした新駅設置による賑わいのある健康増進のまちづくり」の推進
- 奈良県総合医療センター跡地のまちづくり
奈良市との定期的な協議による、まちづくりの進捗管理
立地条件等を踏まえた県有地の利活用手法の検討
県立病院機構との連携による土壌汚染対策及び建物除却工事の実施

【具体的施策】

② 県域水道ファシリティ・マネジメント、ごみ処理広域化

業務の効率化、施設投資の最適化及び水源の適正化を達成するため、県域水道の一体化を進めます。また、市町村が連携して実施するごみ処理施設の整備に対して支援し、ごみ処理の広域化を進めていきます。

<KPI>

指標名	現状値	目標値
県域水道一体化による上水道統合	0 団体（令和元年度）	29 団体（令和 8 年度）
広域的支援体制（受け皿体制）の構築	0 団体（令和元年度）	11 団体（令和 8 年度）
ごみ処理（焼却）施設数	21 施設（令和元年度）	15 施設（令和 5 年度）

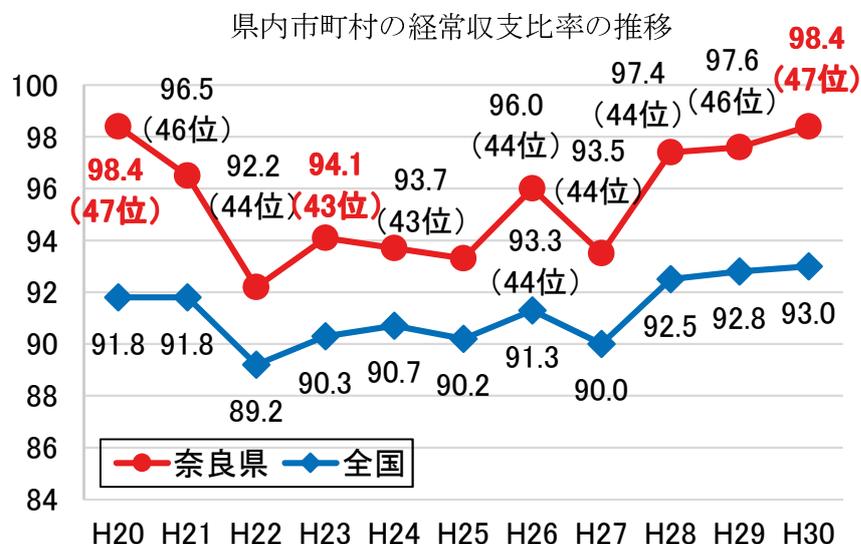
<具体的な取組>

- 県域水道ファシリティ・マネジメント
 - 上水道一体化に向けた市町村との検討・協議・合意形成
 - 簡易水道業務支援事業による研究会の実施
- ごみ処理広域化
 - 奈良モデルによるごみ処理広域化の促進
 - 奈良モデルによる各市町村実施のごみ減量化・リサイクル等の促進、拡大
 - 県災害廃棄物処理計画の策定及び関係団体等との連携強化
 - 県・全市町村で構成する使用済家電等連絡会の運営

【具体的施策】

③市町村財政健全化・財政支援

市町村の財政健全化に対する意識醸成を図る取組と具体的な支援の両輪を通じて、市町村が健全かつ持続可能な財政運営を行えるよう支援します。



<KPI>

指標名	現状値	目標値
市町村経常収支比率の全国順位	市町村経常収支比率（市町村平均） 平成 30 年度 98.4%（全国順位 47 位）	令和 6 年度に経常収支比率全国ワースト 10 からの脱却

<具体的な取組>

- 県内市町村の財政指標を健康診断表に例えて図式化した冊子の作成・配布等により市町村間の健全な競争意識や問題意識を醸成
- 行財政運営面で課題のある市町村に対しては、重点的・集中的な助言・指導を実施
- 「市町村振興資金貸付金」による無利子又は低利の貸付の実施